

2021年3月吉日

各位

「本邦における胚培養士を対象とした妊孕性温存療法の実施状況調査」ご協力のお願い

平素より格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私共の研究班では、厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）の研究の一環として、関係学会と協力し、がん・生殖医療の均てん化を目指して、47都道府県にがん・生殖医療連携体制の構築を実現するための活動も進めて参りましたが、依然地域格差や施設間格差が存在しています。一方、がん・生殖医療の現場では、配偶子・胚・卵巣組織等の生殖細胞の凍結保存技術が必須であり、技術者である胚培養士が本領域において果たすべき役割は非常に大きなものがあります。しかし、凍結時期や凍結方法、また融解方法や受精方法など、がん・生殖医療における培養技術のコンセンサスは得られておらず、各生殖医療実施施設の考えに則って実施されており、妊孕性温存療法の技術においても地域格差や施設間格差が生じているかと存じます。この地域格差や施設間格差の解消は、がん・生殖医療の均てん化に繋がる重要課題の一つと考えております。

そこで、本邦におけるがん・生殖医療における培養技術の実情を把握することを目的とし、「本邦における胚培養士を対象とした妊孕性温存療法の実施状況調査」を施行させていただきたく、貴施設の胚培養士の代表の方に施設長(診療部長)のご承認のもと可能な範囲でお答えいただければ幸いに存じます。

なお、本実態調査の成果として、本調査結果は匿名化の上集計し、学会ホームページや学会雑誌等に掲載させていただき予定としております。上記趣旨をご理解いただき、本調査に是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご回答は、インターネットによる回答となります。送付資料のURLへアクセスいただき、ご回答ください。

ご回答期日：2021年3月24日(水)

【主催】 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）研究班 研究代表者
聖マリアンナ医科大学産婦人科学 鈴木 直

【アンケートに関するお問い合わせ】

医療法人 アイブイエフ詠田クリニック 培養部 部長 泊（とまり）博幸
mail : tomari-ngtcl@arrow.ocn.ne.jp (3営業日以内に返信いたします)